

ARCHI-TECTURE



村野藤吾の生涯はフリーアーキテクトの歴史と氣概を体現するものであつた。彼は前衛建築家ではなかつたが、表現の幅は広く、新しい可能性につねに挑戦しつづけた。彼の存在は、建築界の座標軸の原点となるだらう。

村野藤吾が逝つた。九三歳の現役最長老建築家の死である。彼の死はあらゆる世代の建築家たちに異様な衝撃を与えた。功なり名遂げた巨匠の、天寿をまつとうしての死以上の衝撃をすべての建築家が感じたのである。

村野藤吾の生涯は、わが国の一フリーアーキテクトの歴史とその氣概を体現するものであつた。早稲田大学の建築学科を卒業後、彼は大阪の渡辺節の建築事務所で長い修業時代を経験する。渡辺節は関西財界の信頼の厚い民間建築家であつた。国家的プロジェクトとして遂行される官僚主導型の大規模建築にほんと手を染めなかつた村野藤吾の建築家としての姿勢は、渡辺節の事務所で体得されたものであつたろう。

「一〇〇億円以上の金が村野の鉛筆一本にまかされるわけでしょう。これは、あだやおろそかに考えてはいけません」

彼は自らこう語つてゐる。國家予算の一部を割り当てられた建築工事ではなく、失敗すれば企業がつぶれるかもしれない金を

事務所で長い修業時代を経験する。渡辺節は関西財界の信頼の厚い民間建築家であつた。国家的プロジェクトとして遂行され

る官僚主導型の大規模建築にほ

んと手を染めなかつた村野藤吾の建築家としての姿勢は、渡

辺節の事務所で体得されたものであつたろう。

「河合塾」の手によって、その鉛筆一本にまかされるわけでし

よう。これは、あだやおろそかに考えてはいけません」

彼は自らこう語つてゐる。國

の安定に落ちつくことなく、新

た結果、彼の表現はくり返し

ての多様な肌を見せた仕上げで

いた。この結果、彼の表現はくり返し

ての多様な肌を見せた仕上げで

いた。この